

NO	意見
共通	
1	31の「小柱」について、「順調」が11、「概ね順調」が20という評価は、県民感覚とは少し離れているのではないか。
2	地方創生推進会議の部会から、改善すべき点など厳しい意見があるにも関わらず、（最終的に基本目標毎に評価することで）二次評価が「概ね順調に進んでいる」となるのは、評価が甘いのではないか。
3	4つの基本目標という大枠で括ってしまうと、取組みの評価について県民との意識の乖離が出てくるので、ひとつひとつの取組みについて、きめ細かい評価をしていく必要がある。
4	KPIの達成が基本目標の達成に寄与するという論理的な因果関係が若干弱いのではないか。行政の無駄を省くために、基本目標やKPIとの関係はシンプルに、そして直結したものである必要がある。その点を踏まえた見直しを定期的に行っていただきたい。
5	KPIが達成されているのに、基本目標の実現に至っていないのであれば、取組みなどを変える必要があるということなのではないか。
6	地方創生の推進を図るため、評価にあたっては全国との比較や県内での比較も必要ではないか。
7	神奈川全体の地方創生を実現するためには、PDCAサイクルをきちんと回し、過去の取組みを振り返った上で、適切な改善を図ることが重要である。
8	総合戦略全体として、達成率が高い取組みに携わっている人と財源は、達成率が低い取組みに回せば良い。
9	目標値を厳密・完璧に設定することは難しい。むしろ、目標値を柔軟に変更していくべきである。
10	多くのKPIの達成率を見ると、目標値を達成しやすいと思われる項目や実現可能な値に抑えて設定しているのではないか。
11	取組みを追加したり、あるいは、達成したKPIについてはさらに高い目標値に変更するなどし、県民に効果を感じてもらえるようアピールすることが必要である。
基本目標 1	
12	県内の半数以上の市町村ではすでに人口減少が始まっている中、地方創生をしっかりと推進し、活性化していく必要がある。そのために、農林水産業の役割は大きいと考えられるので、これまで実施してきた事業の成果や課題をしっかりと検証しながら、より効果的な事業展開をしていただきたい。
基本目標 3	
13	数値目標に「25歳から44歳の女性の就業率」があげられているが、KPIにも同じ指標が使われており、KPIの達成が数値目標の達成につながるという体系になっていないのではないか。
14	「女性の労働力率」のM字カーブが全国最下位など、基本目標3に係るデータは全国との比較で低いにも関わらず、概ね順調と評価することは納得し難い。
基本目標 4	
15	KPI「サービス付き高齢者向け住宅の登録個数（累計）」は既に2018年目標値を達成しているが、目標値の見直しが必要ではないか。
16	KPI「『広告景観形成地区』の箇所数（累計）」や「消防団員数」など、市町村が主体となって行うものを県がKPIに設定するのは疑問である。
17	KPI「消防団の団員数」について、団員数は伸びており、目標値と実績値の乖離が年々大きくなっているため、例えば「対前年度比維持」などに目標値を見直してはどうか。